

40th
Anniversary

2011

第38回 建築物 環境衛生管理 全国大会

抄録集

平成23年1月20日(木)・21日(金)

メインテーマ

「ビル環境衛生の広がり」 ～法施行40年記念～

会 場

財団法人 日本教育会館一ツ橋ホール (東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

主 催

財団法人 ビル管理教育センター



建築物環境衛生管理技術研究集会

15. トコジラミ防除の現状と対策

元木 貢（アペックス産業株式会社）

1. はじめに

1960年代後半まで日本でも発生がよく見られ、その後減少の一途をたどっていたトコジラミの被害が、ここ数年、ホテルなどで急増している。トコジラミ増加の原因には、流行国からの旅行者の増加、交尾した雌 1 個体が持ち込まれただけでも十分に繁殖が始まる、初めて吸血された場合は痒くないので発生に気づかないことが多い、などが挙げられ、知らずに繁殖が進み、訴訟など大きな社会問題になりかねない。当社でこれまで行ったトコジラミに対する取組みと対策について報告する。

2. 当社におけるトコジラミ防除件数の推移

1970年代には、一般住宅や社員寮などから駆除の依頼があった。当時は有機リン系殺虫剤を畳や襖の縁、柱の割れ目や隙間などに注入、その周辺にもかなりの量を残留噴霧したため 1 回で十分な効果が得られていた。1980 年以降から 2004 年までトコジラミの依頼はなかったため、ほとんどの社員はトコジラミの防除経験がなかった。2005 年、ホテルからの 1 件を皮切りに、2006 年 6 件、2007 年 9 件、2008 年 9 件、2009 年 10 件と増加傾向にある。建物別には、ホテルが 21 件、マンションが 7 件、簡易宿泊施設 5 件、レクレーション施設が 2 件であった。

3. 防除事例

あるホテルから、宿泊者が痒みを訴えてきたとの連絡があり、調査したところ、ベッド(図 1)の裾周り(図 2)、ベッドの裏(図 3)、枕元の上部にある点検口の枠(図 3)、コンセント内部(図 4)、カーテンの上部フレア(図 5)などに成虫、幼虫、卵、血糞などが発見された。

当初はピレスロイド系の殺虫剤を使用していたが効果が得られなかったため、マットレスの折り目、縫い目、カーペットと幅木の隙間、コンセント（周囲及び内部）を中心として隅々に有機リン系殺虫剤を 1 m²当たり 50m l を目安に散布した。また、壁と天井のコーナー、カーテンのフレア部分、テレビの裏側などシミが残る恐れのある箇所には同薬剤を 1 m²当たり 5m l 程度を微粒子で吹き付けた。3 回処理を実施した後、効果を確認して終了した。その後、同じフロアの他の部屋からも同様の訴えがあり、その都度同様の処理を行った。他の部屋に広がった原因として、①同じ清掃資材を使用しているためにトコジラミが他の部屋に運び込まれる、②寝具を部屋間で移動させる、③同じ階の全客室を売り止めにして調査と処理を提案したが、営業上、実現できなかった、などが考えられる。

4. 対策

これまでの防除経験から得たトコジラミ駆除対策に不可欠な要点として、被害が発生したら直ちに綿密に調査する、トコジラミが発見されたら有機リン剤による隙間残留噴霧(複数回)を行う、ホテルの場合は事態が収束するまで部屋を売り止めにする、他の部屋に拡散しないように寝具の移動や掃除用具の共有をしないことが挙げられる。また、宿泊者が刺咬被害を受ける前に発見することが重要であるので、ホテルの客室係員がトコジラミの知識を持ち、ベッド周りを中心に点検を行い、血糞や虫体を発見したら直ちに売り止めにして、駆除を実施する必要がある。

5. おわりに

米国では 2000 年以降にトコジラミ再興の報告が出始め、増加の一途をたどっている。市民の 70% が賃貸住宅に住んでいるニューヨークでは、住宅の不具合があると Housing Authority に連絡するが、トコジラミ被害は 2003 年に 0 であったものが、2005 年 928 件、2007 年 7000 件、2009 年には 10000 件を超えた。ニューヨーク市は事態を深刻に受け止め、条例を制定し専門家による委員会を立ち上げ、50 万ドルの予算をつけて対策に乗り出した。米国では、Web サイト (The Bedbug Registry) にトコジラミの情報が書き込まれている。これはトコジラミの公共データベースで、被害を受けた人がホテル名、被害状況を書き込むもので、全米の生息マップが出てくる。ただし、書き込み内容の真偽のほどは定かではないが問題は大きい。

トコジラミ問題は表に出にくいいため、行政、市民、施設管理者、PCO のそれぞれが適切な知識と情報を持ち合わせていなければ、今後もひそかに生息が拡大し、訴訟や行政対応への批判が増加するなど、深刻な社会問題となることも懸念される。

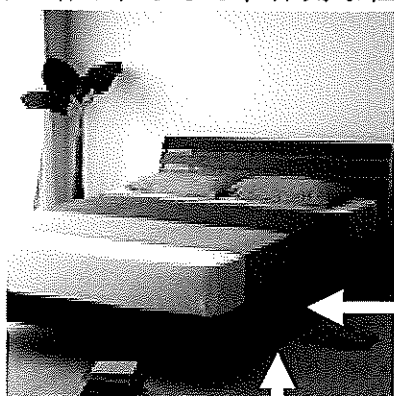


写真 1 ベッド (イメージ写真)



写真 2 ベッドの裾周り

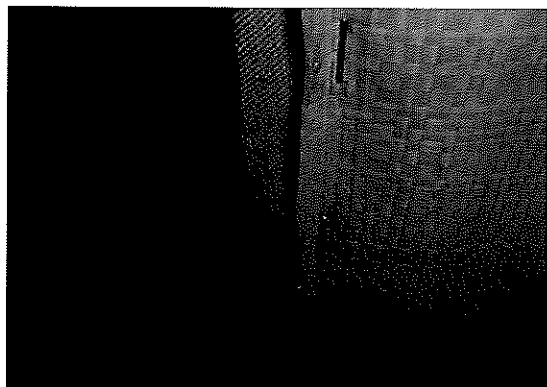


写真 3 ベッドの裏の血糞

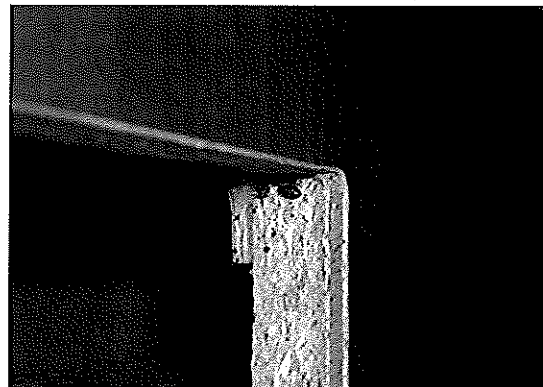


写真 4 枕元の上にある点検口

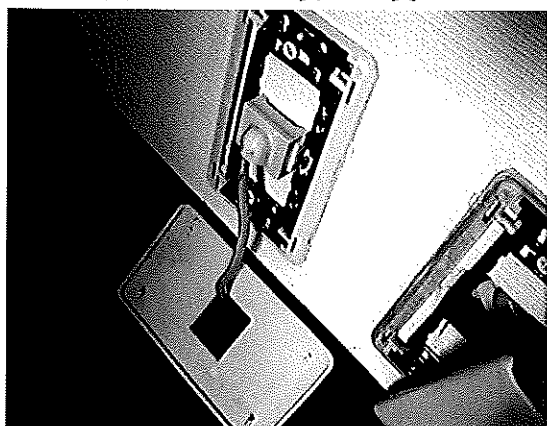


写真 5 コンセント内部



写真 6 カーテンの上部フレア